

令和4年度  
第4回岡山市文化芸術推進会議における主な意見

- 1 日 時 令和5年1月23日(月) 14時00分から15時30分まで
- 2 場 所 岡山市ほっとプラザ大供 5階 軽スポーツ室兼会議室
- 3 出席者 委員 6名  
関係者2名(岡山市中学校文化連盟会長、岡山市中学校吹奏楽連盟会長)
- 4 傍 聴 なし

5 議 題

- (1) 岡山市立中学校部活動地域移行推進方針(案)について
- (2) 令和4年度の主要事業について
- (3) 令和5年度予算について
- (4) 岡山シティミュージアムの現状について

6 主な意見等

(1) 岡山市立中学校部活動地域移行推進方針(案)について

- ・指導者候補の有無やレベルのリサーチ、予算立てによる謝礼の支払い、など市の事業として移行を推進していく必要がある。
- ・活動の連続性の担保や合同チームの大会出場などの課題について、今後検討する必要がある。
- ・指導者の候補として、兼職兼業の許可を得た教職員が挙げられているが、学校部活動の地域移行は教職員の負担権限も大きな目的の一つである。本人の希望を尊重するとしても、指導するとどうしても力を入れざるを得なくなってしまうがちになる。きちんと休みが取れるよう配慮をお願いしたい。
- ・指導者の候補として、競技団体等との協議も進めるべきである。競技性だけでなく、エンjoyできる、レクリエーション的な視点で競技人口を維持、拡充することは、お互いにメリットがある。適切な指導者の派遣にもつながると思うので、是非検討してほしい。

・運営組織の検討、整理は今後になるが、本当に難しい問題であり、大切なことである。活動が縮小することのないよう、モデル事業で試行錯誤していくしかない。子どもたちが、学校の教科指導以外のところで、様々な体験をすることができる機会が増えるように考えていかなければならない。

(関係者の意見)

・文化部活動の代表的なものとして、吹奏楽部や美術部があるが、学校によって状況が異なるうえに、部活動によっては練習環境や発表形態が違うので、課題も多いと考える。

・吹奏楽を例にしても、全国的な組織やその大会、楽器等の備品の維持管理など様々な課題がある。指導には専門的な知識があったほうが結果が出る場合が多く、専門的な講師を依頼するかどうか、依頼した場合の謝礼、なども学校によって異なる。

・今後、兼職兼業により教職員の指導が可能となったとしても、すでに本務でかなりの勤務時間を費やしているため、部活動指導の時間が限られてくるだろう。

・運営組織の起ち上げや整備は大きな課題であり、皆さんと考えていきたい。

(2) 令和4年度の主要事業について

・決算後に金額の報告もお願いしたい。

(3) 令和5年度予算について

・特になし

(4) 岡山シティミュージアムの現状について

・様々なことに取り組んでいるが、逆に方針や構成がみえてこない。運営方針を固めることが一番必要なのではないか。

・テーマを決めたプロモーションが必要ではないか。

・方向性や構成を出したうえで、他のイベントとの連携や、立地条件を生かした岡山駅からの導線、また、岡山シティミュージアムだけでなく、カルチャーゾーンなども含めた面で考えるなど、いろいろ検討していくべきではないか。